

勾当台エリアビジョン「施策等の方向性」の記載内容（案）について

【構成（案）】

- 1 重点ゾーン（「市民広場周辺ゾーン」「定禅寺通ゾーン」）と空間イメージ
- 2 勾当台エリアビジョンの実現に向けて

1 重点ゾーンと空間イメージ

勾当台エリアのまちづくりを牽引するため、早期の施策具体化に向け検討を進めるゾーンの
詳細と、視覚的な空間のイメージ

(1)市民広場周辺ゾーン

- ◎ The Greenest “Center” のまさに中心として、賑わいや空間の連続性を高め、仙台・勾当台エリアを代表する「協働の広場」をつくる
- ◎ 人々の多彩な活動の様子が見え、その光景がさらに多くの人々を惹きつける循環を生む
- ◎ 地形や歴史とともに都心のみどりに触れ、質的な豊かさを実感できる、杜の都の象徴となる

(2)定禅寺通ゾーン（定禅寺通界限）

- ◎ 人々の滞在と活動を生むための、居心地が良く歩きたくなるまちなか形成の先進地となる
- ◎ 知名度・独自性を活かしながら、定禅寺通活性化検討会をはじめとする多様な主体との協働まちづくりを進める
- ◎ ケヤキというエリアの資源を未来につなげる

- それぞれのゾーンについて、施策の方向性（案）の詳細を記述する
- パースやイメージ図、写真、事例、概念図等により空間的なイメージを示す

2 勾当台エリアビジョンの実現に向けて

今後の施策の具体化や都心全体のまちづくりに係る計画の検討に向けたメッセージ

- 勾当台エリアビジョン中間案及び最終案をもとに、勾当台エリアビジョン策定後、施策具体化の検討において留意すべき事項等についてご意見をいただき、その概要を掲載する
- 新総合計画や改定版都市計画マスタープランに掲載予定の「仙台都心の目指すまちなかの姿」（イメージ図：本資料右側参照）を紹介し、都心全体の将来のまちづくりの方向性を示す
- 勾当台エリアビジョン策定検討懇話会で頂戴したご意見を含め、勾当台エリアと他のエリアとの関係性等について記述する
- 上記2点を踏まえ、都心全体の方向性について、令和3年度に策定予定の都市計画マスタープラン地域別構想にて整理していく

【参考】第9回総合計画審議会資料（R2（2020）.8.7）
勾当台エリアビジョン中間案・最終案では、
内容を最新のものに改める

都心まちづくりの方向性

薄政時代からのみどり豊かな美しい「杜の都」の都市環境や、「防災環境都市」としての都市個性を基礎に、その質を高めながら都心の機能強化を図り、東北をグローバルに牽引する中核都市として、国際競争力を有し、賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける都心を目指します。

